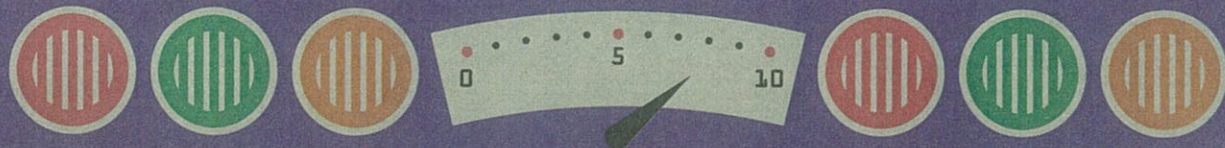


楽しい理科のはなし2016 不思議の箱を開けよう

宮城県内の小学生に理科をもっと好きになってもらうため、東北大学の先生を招いて行われる出前授業「楽しい理科のはなし」。仙台市と大和町の小学校6校の子どもたちは、いつもの授業では体験できない実験や工作を通し、自然現象の不思議や化学反応のおもしろさを体感しました。

■主催／河北新報社、東京エレクトロン宮城株式会社

■協力／東北大学 ■後援／仙台市教育委員会、大和町教育委員会



思いがけない大きな変化があったよー

2016年(平成28年)

7月30日(土)

河北新報社

〒980-8660
仙台市青葉区五橋1-2-28
www.kahoku.co.jp

「東」は、未来



総合案内 022(211)1111
読者相談室 (211)1447

ご購入申し込みは
オオク ミナヨム
0120-09-3746

河北新報

宮城教育大学附属小学校



飛行機が空を飛ぶためには、ジェット噴射によって発生する大きなエネルギーを利用した作用・反作用の力が必要であることを、「鉄腕アトム」を例に分かりやすく説明した小宮先生。燃料役の学生と台車を使って実験してくれました。ペットボトルロケットの原理も、ジェットの力を応用した液体燃料ロケット「H2Bロケット」と同じ。子どもたちは熱心に話に聞き入っていました。

授業の後はさっそくオリジナルペットボトルロケットを製作。安定して遠くに飛ばすにはどうしたら良いかを考え、友達と相談したり設計図を描いたりしながら組み立てました。最後は思い思いにデモンストラーションしたロケットを校庭の発射台にセット。ちよつとこの日に有人宇宙船「ソユーズ」の打ち上げもあり、子どもたちは夢を膨らませながら自分のロケットを大空に放ちました。

飛ぶために必要なジェットの力

大空に届け！みんなのロケット

講師 東北大学流体科学研究所 小宮 敦樹 准教授

作って飛ばそう みんなのロケット



伊藤 美咲さん

ものづくりはやっぱり楽しい！
図工などでものを作ることが好きなので、ペットボトルロケット作りがとても楽しかったです。難しいところもありましたが、飛ばしてみると思ったよりも飛んだので、また作って飛ばしてみようと思いました。



新沼 優作さん

将来の夢は立派な科学者！
ロケットの仕組みを、アトムを例に説明してくれたのでとても分かりやすかったです。大学生のお兄さんからもいろいろなお話を聞くことができ、とてもためになりました。将来は科学者になりたいので、もっと勉強をがんばりたいです。



参加者募集中 楽しい理科のはなし2016 「サイエンスエンターテイナー・チャーリー・西村」サイエンスショー

●開催日／平成28年8月23日(火) 10:30~17:30 ●場所／東京エレクトロンホール宮城 ●詳しくはコチラ→<http://www.kahoku.co.jp/electron/>

企画・制作／河北新報社営業局